

第一回左海 大黒会

2017年6月24日土曜日(晴れ) 午前11時より

利休菩提所、臨濟宗大徳寺派、天慶院にて

つば市主催にて堺数奇者による茶会を

武野紹鷗好みの茶室で移築以来、初めてお濃茶席をさせていただきました。

この茶室は1718年高志七左衛門の屋敷にあったものを、4畳半のうち1畳分を床にして、前板を入れて仏壇を設け、円窓を切っています。にじり口ではなく貴人口を設けた非常に貴重なものと云われています。

今回、堺衆文化の会では堺の昔という趣向で当時どのような喫茶文化であったかを検証することを目的に(一社)つば市主催で執り行いました。

堺伝来の本茶室での一座建立というものはいったいどういう雰囲気なのか、興味をお持ちくださったご住職を正客としてお招きさせていただいたところ、ご参加くださいました。道具の取り合わせも出来るだけ堺伝来のものや、堺の黄金期で使われたであろうものを揃え、裏千家、渡辺先生のご指導と煎茶師範、三宅先生のご指導のもと大変厳かで、またお客様と一体となる茶会となりました。

また、今回は特に、堺生まれで南宗寺や堺市に貢献していただきました立花大亀和尚の13回忌という意味もこめさせていただきました。

お茶は特にすべての品種等を吟味し、いわゆる無上とされるにふさわしいお茶を濃茶として練っていただきましたが、先生が丁寧な練る茶せんの音、遠香、お茶の艶、茶碗の様子、掛け軸の一字や清巖和尚の墨蹟がもし出す雰囲気に、私もすべての五感が刺激され、伝来の茶室での大変貴重な経験、勉強をさせていただきました。

お客様、関係者のみなさま、スタッフ、又、何よりもこのような機会を与えていただきました小野住職に心から感謝いたします。

(一社) つば市 谷本 順一